

教育委員の紹介



教育委員長職務代行者
木下 信博

日頃の教育活動へのご理解とご支援に、お礼を申し上げます。今日的課題の、いじめ・体罰等の解消に取り組んでいます。また「くまもとと家庭教育支援条例」が四月から施行されました。子どもたちの健やかな成長に喜びを実感できる地域社会の実現を目指しています。「家庭での教育を」長洲町みんなで応援していただきたいと願っています。そして、学校、家庭、地域の連携が一層深まれば幸いです。

教育委員として2年目になります。委員の仕事は多岐に渡り、その責任の重さを感じながら関わって参りました。

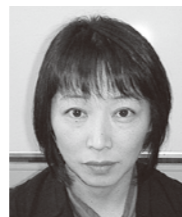


教育委員
伊津野 照子

教育委員として2年目になります。委員の仕事は多岐に渡り、その責任の重さを感じながら関わって参りました。

その中で、子供たちに「生きる力」を身につけさせるためには、変化する社会情勢の中で、学校・家庭・地域の連携の大切さがますます重要になってきているのを感じています。

たくさんの声を聞かせていただき、子供たちの瞳が輝くよう活動していきたいと思っています。



教育委員
松岡 友美

教育委員として活動を始め1年7ヶ月が経過しました。

自分なりに教育委員会と保護者のパイプ役となることが、私の役目と心得、現在、活動しているところです。

長洲町の教育方針に掲げております「未来を拓く人づくり」を基本に、この「ふるさと長洲町」を将来、担って行く子ども達が、安心して伸び伸びと「学ぶ」ことの出来る、そして、「心を育てる」環境づくりに力を注ぎたいと思っています。

教育委員会とは

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、学校教育や文化・スポーツなどを含む社会教育に関する事務を管理・執行します。

また、これらを通じ、教育政策を具体化した地域教育計画の主体として、その組織・運営にあたる地域教育の責任機関です。

小・中学校の紹介

六栄小



校長
藤原 伸作
教頭
中島 恒士



教育目標

笑顔追求 そして 一步前進

今年の取組

本年度は新1年生50名を迎え、全校児童255名、全職員20名で六栄小学校はスタートしました。

重点項目として、「掃除」「挨拶」「交通安全」等の心の教育の充実、「新聞活用」による学力の向上、「朝マラソン」による体力の向上等、知育、徳育、体力面における本校の課題の解決を図っていきます。

子どもたちの活躍の様子を参観いただき、地域の中で育つ子どもたち、地域と共に歩む六栄小学校にしていきたいと思っております。御協力をよろしくお願いいたします。

腹赤小



校長
村田 二昭
教頭
野間 幸嗣



教育目標

自信と誇りをもち、やさしく、かしこく、たくましく生きる力を身につけた子どもの育成

今年の取組

今年は32名の1年生を迎え、全校児童201名でスタートしました。

「一人ひとりの子どもに『自信』と『誇り』を！『自信』と『誇り』が『生きる』の原動力！」を学校経営の基本方針の柱とし、さらに

教育の根本は指導者の熱意にあり(教育愛)
授業に生き、指導を深める(指導力・授業力)
教育の実は児童の姿にあり(結果責任)
教育の深化は児童の立志にあり(影響力)
と設定しました。

「信頼され尊敬される教師」が「瞳輝き笑顔あふれる児童」を育て「信頼され前進する学校」を創り上げていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教育ながさ

NO.58

編集:長洲町教育委員会

教育委員あいさつ	26
学校紹介	27
転入の先生紹介	29
長洲町の教育	30
幼児教育	31
各課紹介	32

ごあいさつ



『熊本版コミュニティ・スクール』

教育委員長
大山 司朗

今、学校は子どもたちに「生きる力」を身に付けさせるため、「確かな学力」「豊かな心」「健康・体力」の育成の三本柱を中心として、日々努力をしているところであります。

保護者、地域の皆様には、学校支援地域本部事業等で、日ごろから多大のご協力をいただいております。今年度から、長洲町の各小・中学校で導入しようとしている「熊本版コミュニティ・スクール」は保護者・地域の皆様からの子供支援をもっともっとお願いして、学校・保護者・地域の皆様の三者による「学校運営協議会(仮称)」なるものを作り、校長から出される学校運営案に対して、より良い子どもたちを育てるために、三者で十分意見を出し合って学校を運営していこうというものです。子どもたちを育て上げるのに保護者はもちろん地域も責任を持つということになります。これから各小・中学校でこの制度を作っていくこととなりますので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。

学校を卒業して、この厳しい社会を生き抜いていくにはどのようなことを身につけていかなければならないのか、三者で勉強しながら、協議を重ねて、子どもたちを素晴らしい若者に育てていきたいものです。



「未来を拓く人づくり」を目指す

- 家庭教育・学校教育・社会教育の充実 -
教育長
今村 義隆

くまもと家庭教育支援条例には「家庭は教育の原点であり、全ての教育の出発点である」と示されています。家庭教育が教育の基本であることを自覚し、心豊かな子どもを育てる教育を推進します。

学校教育は、児童生徒が「夢」を持ち「生きる力」を育てる教育を行い、教育目標が達成されるように知・徳・体の調和のとれた教育活動を充実します。また、学校では「命を大切に作る心」を育てる指導を行います。「いじめを許さない学校・学級づくり」を目指して学校・家庭・地域が互いに連携し、「心のきずな」を深め、いじめの未然防止に取り組めます。さらに、地域と共に創る「熊本版コミュニティ・スクール」を導入し、「開かれた学校づくり」に取り組めます。

社会教育は、町民の皆様の学習する機会及び情報の提供に努めます。また、文化の振興に努め、芸術・文化活動が活発に行われるように支援します。さらに、生涯スポーツを推進するとともに、スポーツ環境の整備とスポーツ活動を広める取り組みを推進します。長洲町の教育が皆様の個性や能力を開花させ、人生を豊かにするとともに社会を発展させる基盤となるように教育の充実に努めてまいります。

各学校の動き(児童生徒数)

平成25年5月1日現在

	男	女	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
六栄小	130	125	255	50	47	36	38	37	47
腹赤小	93	108	201	32	29	30	34	45	31
長洲小	131	138	269	46	45	39	41	48	50
清里小	54	41	95	16	13	16	17	18	15
腹栄中	123	115	238	69	91	78			
長洲中	96	86	182	58	59	65			

